



1 2 3 4 国衆一揆の様子、5 6 子ども修羅レースの様子、7 8 9 先陣修羅レースの様子

南蛮毛物語

和水町和仁地区には「南蛮毛」という字名があり、400年以上も前に「南蛮娘」が住んでいたという伝承話がある。

「南蛮娘マリア」は、豊後の国キリシタン大名、大友宗麟により和仁人鬼親宗に出会い、和仁田中城での生活を送ったが、高温多湿な気候と生活習慣の違いから1年足らずで亡くなってしまった。



戦国肥後国衆一揆『田中城の戦い』

天正15年(1587年)豊臣秀吉の九州平定により、肥後の領主となった佐々成政が行った検地などの強引な政策に抵抗して、肥後各地の国衆たちが一揆を起し、その中でも日本歴史上大きく位置づけられているのが『田中城の戦い』である。

肥後の国衆たちの一揆に激怒した秀吉が、九州支配の今後の見せしめとして筑前・筑後の大名に攻撃を命じて、肥後各地の国衆を滅ぼしていくなかで、田中城城主の和仁氏は辺春氏とともに田中城に籠城して抗戦した。小早川秀包を総大将とする安国寺・立花・鍋島などの1万の大群に対して、1千あまりの軍勢で最後まで激しく抵抗したが、約40日後に最後の1兵までも滅ぼされてしまった。

秀吉はこの肥後国衆一揆後、全国に『刀狩令』を発布したといわれている。

戦国時代と今を繋ぐ 第35回戦国肥後国衆まつり

2月12日(日)和水町多目的広場で第35回戦国肥後国衆まつりが開催されました。
今年も晴天に恵まれ、多くの来場者でにぎわいました。
祭り最大の目玉『武者行列と国衆一揆の再現』では、町内外から駆けつけた総勢67人の勇壮な鎧姿の武者たちが入場すると、会場は一斉に緊張した空気に包まれました。鉄砲隊の打ち合う爆音を合図に、戦国絵巻さながらの壮絶な戦いを再現する演技に、観客はかたずを飲んで見守っていました。
他にも多くのイベントが開催されましたが一部を紹介します。
三加和地域の保育園児による出し物では神尾保育園児の「鼓笛演奏・ダンス」あおば保育園児の「演舞」春富保育園児の「Y Y体操」はそれぞれ保育園の特徴がでていて、皆さん見入っていました。
町内の子ども会による子ども修羅レースでは、白熱した戦いが行われ、小学校4年生、6年生の全ての部で神尾小学校が優勝し、6年生は、4年生の時から3年連続での優勝とすばらしい成績でした。
お楽しみ抽選会では、1等は40型液晶テレビ。他にも豪華商品が多数用意されており、祭りの最後まで盛り上がりしました。



英太郎さんの笑いの絶えないものまねショー



町青年団による肥後にわか



なごみひょうとこ笑福隊によるひょうとこ踊り
小さな子どもも参加しています。



さきもちろう隊ショー



紅白餅投げでフィナーレ



神尾保育園児による「鼓笛演奏・ダンス」